

(様式1-2)新規評価シート

事業名		道路環境対策(無電柱化推進計画)		路河川名等	(主)岡谷茅野線					
事業毎の通番		1	市町村名	岡谷市	箇所名(ふりがな)	本町～中央町(ほんちよう～ちゆうおうちよう)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強いインフラ等の整備の推進 3-1 ⑥ 観光地域づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン 第3期長野県国土強靱化計画 長野県無電柱化推進計画			関連する事業プロジェクト					
	現状と課題	当該箇所はJR岡谷駅と岡谷市街地を結ぶ幹線道路であり、第二次緊急輸送道路に指定されている。また、バリアフリー重点整備区域や通学路に指定されている。一方で、歩道内には電柱が林立しており、災害時に電柱倒壊による人流・物流を阻害する恐れがあるほか、周辺の景観形成を阻害している。								
	事業目的	電線地中化の実施により安全で快適な通行空間の確保や都市景観及び防災面の向上を図ることを目的とする。								
事業概要	着手年度	2024年度(令和6年度)		事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2028年度(令和10年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	電線共同溝工 L=180m				200,000	110,000		81,000	9,000
事業概要	 <p>平面図</p> <p>将来計画、無電柱化済 R6～R10 区間、電線共同溝工</p> <p>緊急輸送道路</p> <p>バリアフリー重点整備地区</p> <p>無電柱化済区間</p>									
	 <p>①</p> <p>電柱・電線が林立しており、良好な都市景観を阻害している。</p>			 <p>②</p> <p>地震等の災害時には電柱の転倒等による交通マヒ、住民活動に支障を生じる。</p>			 <p>標準横断面図</p> <p>15000</p> <p>3500 4000 4000 3500</p>			
	主な受益対象	自動車:14,843台/日(現況交通量)、自転車:876台/12h(現況交通量)、歩行者:391人/12h(現況交通量)								
事業効果	期待される効果	歩行空間の確保、電柱転倒等の交通障害の発生の抑制 沿道の良好な景観、市街地の活性化が見込める				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	算定対象外			
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	岡谷駅に至る道路であり将来的な活用が見込まれる。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	小尾口区から毎年9月に所長要望あり								
	事業説明等の経緯	令和5年5月に岡谷市及び地元区長に対し事業概要を説明し、了承済								
評価結果	所管課の意見	電線共同溝を整備することで、安全で快適な通行空間の確保、景観及び防災面の向上が図られるため、事業着手が妥当と判断する。					妥当性評価※	優先度評価※		
	政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	4.9		
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)